

眠ね おん音

季刊 [Neon] Vol.46 2018 Summer

— 特集 —

麻

〈あさ〉

CONTENTS

巻頭 目次

02 特集
麻〈あさ〉

10 コラム
ねむるはなし Vol.02
天然素材である理由

11 【ねおんの視点】
出張料理人 山本理世

14 夏のギャツペ&ムートン

17 伊藤剛俊 展

18 奥能登に本物の地ビールを求めて。
日本海倶楽部

22 旬の料理をいただくことで
身体を整え、心を満たす、
『ガマダンダイニング』

24 編集後記

巻末 石田屋イベントスケジュール



眠 ねおん 音

Vol. 46

季刊 [Neon]

2018-Summer

撮影 / 藤森祐治

暮らしに深く根づいてきた、
欠かすことのできない繊維。

— 特集 —

麻

〈あさ〉



麻は人間がはじめて織物の素材に用いたといわれる繊維。リネン（亜麻）は人類が使い始めてから1万年にもなる。古代エジプトでは神事にも使われていたとか。



もうすぐ夏。汗を吸いとり、発散させる「麻」の素材は、高温多湿の日本では欠かせないものとして古くから重宝されてきました。一口に麻といっても、リネン（亜麻）やラミー（苧麻）を筆頭に、ヘンプ（大麻）、ジュート（黄麻）など、産地や種類も様々ですが、現在、日本国内で流通する布の中で「麻」と表記できるのは、リネンとラミーに限られています。

リネンが、ヨーロッパを中心に、服地やシート、キッチンのファブリックなど、高級な素材として永く愛され、生活に密着してきたことは周知の通り。心地よく豊かな暮らしになくてはならないアイテムとして、リネンを大切に使う伝統があり、「結婚が決まった娘に母親がリネンを贈る」という習慣もあつたそうです。

一方、日本をはじめ、アジアで多く使われてきたラミー。リネンに比べてシャリ感が強く堅めではありませんが、肌に密着せずに涼やかなのが特徴で、日本では古くから衣類用の素材として使われてきました

『石田屋』で扱う「麻」もこれらリネンとラミーの2種類で、もちろん、天然素材にこだわった選りすぐりの寝具のみを提供しています。

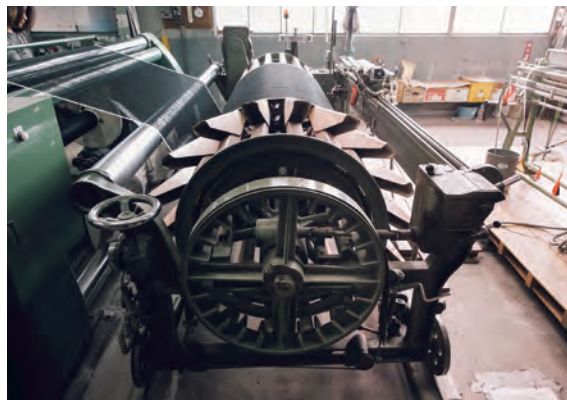
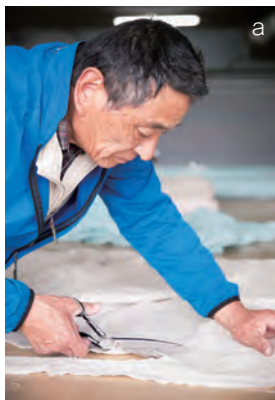
職人たちの確かな目と技によって 生みだされる高品質な「麻」生地。

今回の特集で「麻」を取りあげるために向かったのは滋賀県。日本で最も大きな湖、琵琶湖の東岸にある湖東地域は、麻の製織・加工に欠かせない高い湿度と美しい水に恵まれた、全国的にも屈指の麻織物の産地です。『石田屋』の麻製品が生みだされるのも滋賀県で、1944年の創業以来、まさしく「麻」と共に歩んできた会社によるもの。付加価値を追求するべく産地風土を生かした伝統ある加工、希少価値ともいえる特殊織物へのこだわりと織りへの情熱に厚い信頼と定評があります。

工場で感じたのは、いたるところで、人の目でチェックされ、人の手が加えられるということ。織物の設計に基づき必要な縦糸を、その本数、密度、幅および色糸の並列順序に従ってビームに巻きつけていく「整経」、乾燥によって糸が切れないように注意しながら、織機にセツトした縦糸に横糸を織り込んでいく「製織」、仕上がった生地に傷や汚

れがないかをチェックして修復も行う「検反」、つくるものに合わせて大きさを測り生地をまっすぐに切っていく「裁断」。そのすべてに、その道のプロの職人が立ち会い、その品質を厳しくチェック。例えば「裁断」の作業では、生地のゆがみが出ないように、横糸を1本抜いてからハサミを入れる手間のかけよう。そうした細やかな心配りと一朝一夕ではない職人の技が合わさって、真に高品質な麻生地が仕上がっていく。本物のものづくりというのは、こうした職人たちの情熱や矜持によって支えられているということを強く思い知らされます。

a横糸を1本抜きながら丁寧に、1枚ずつ生地を裁断していく様子はまさしく職人技。b 縦糸と横糸を織り込んでいく前の重要な工程となる「整経」。ここでも人の目で厳重にチェックされている。







b a

「世界最古の繊維」と呼ばれる麻には、 愛され続けるだけの魅力がいっぱい。

改めて、「麻」の素材の魅力は、どんなところにあるのでしょうか。

まず、なんといっても、その吸水性と放湿性。例えば、リネンの吸水率は、コットンの約4倍、シルクの約10倍といわれ、また、含んだ水分を発散する速乾性にも優れているので、カビや雑菌の繁殖を抑えて清潔さを保つことが可能。そのサラッと爽やかな涼感も、麻素材の最大の特長といえるでしょう。また、麻の繊維には「ペクチン」と呼ばれる成分が含まれており、その働きにより、繊維の奥まで汚れが入り込むのを防いでくれます。麻は、汚れが落ちやすく、洗濯にも強い素材であるということもいえます。そして、肌にやさしいということ。身体がいつも清涼感に包まれているのももちろん、触れてもチクチクせず、実はとてもソフトなタッチ。一般的に「ごわごわしている」、「かたい」、「シワになりやすい」という印象があるかもしれませんが、とりわけ『石田屋』が提供している「リネン麻」は、

軽くて柔らかいのが特徴で、肌触りが心地よく快適に過ごすことができます。「リネン麻」が世界の超一流ホテルで使われているのは、こんなに様々な理由があるからです。

さらに、高温多湿な日本では、快眠には、いかに「湿度」をコントロールするかが鍵。以上の理由から、麻は、心地よい環境を整えやすい一年中使える快適素材といえるのです。

その歴史の古さから「人類最古の繊維」ともいわれる麻。はるか昔から世界中の人々の暮らしに根づき、愛され、使われてきた麻を、普段の生活に取り入れてみませんか。

a 機械では難しい作業は、人の手を使って、丁寧に生地が作られていく。b今は使っていない歴史を感じさせる古い機械も残されている。c 機械で糸を織り込む際に、乾燥から糸がパチンと切れてしまうことも。その際は職人が糸を結んでつなげていく。



蒸し暑い日本の夏に最適な 『石田屋』のおすすめ麻寝具。



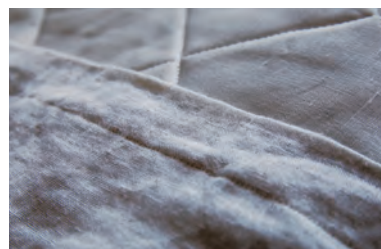
世界トップクオリティーの ヨーロッパリネン

滑らかな手触りと軽さ、そして、美しさ。細番手だから軽く、やわらかく、しなやかなヨーロッパリネンを使った麻寝具。夏はもちろん、冬は汗冷えから解放されるため、一年中快適な睡眠をとることができます。カラーは全4色。カバーを変えられるだけで、手持ちの寝具がその日から変わります。

- SL掛けカバー39,000円 ※他サイズ対応可能
- Sボックスシーツ32,000円 ※他サイズ対応可能
- ピロケース 8,500円（ナチュラル・ネイビー・ホワイト・シャンパンガーゼの全4色）※イタリア産リネン100%

素材を厳選した『石田屋』の麻寝具は、寝汗を吸い、発散するので、蒸れにくいのが魅力。さらさらで汗のニオイと汚れもつきにくい麻の寝具は高温多湿で蒸し暑い日本の夏にぴったり。丸洗いもOKです。

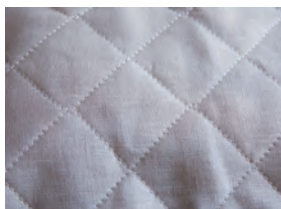




日本の手仕事が光る 『石田屋』のロングセラー

側地はもちろん中綿もすべて麻100%。表生地に細いリネン糸が使われており、肌に触れたときの気持ち良さは格別。中綿に湿気と熱を逃がすラミーを使用することで、睡眠中の不快な蒸れから解放されます。天然の麻を化学処理せずに使っているので安心。洗濯機で丸洗いができます。

-
- 掛け布団 S 46,000円～(ナチュラル・ピンク)
 - 麻敷パッド S 36,500円～ ●麻枕パッド 7,500円
- 側生地:フランス産リネン100% 中綿:麻(ラミー)100%
写真上/夏は1枚で、他の季節は掛け布団の下に使え、一年中活躍します。
- S麻ガーゼケット 15,000円(ナチュラル・ピンク) フランス産リネン100%



ヨーロッパリネンのパイルケット

昨年も即完売した大人気のリネンのパイルケットが軽量化して再登場。ピロードのような光沢と滑らかさは、パイルの概念をまさしく覆すような触り心地です。涼しさはそのままに、年配の方やお子様まで使える軽さで、これからのシーズンは特に、手放せなくなる一枚になるに違いありません。

-
- ヨーロッパリネンパイルケット 36,000円
- パイル:リトアニア産リネン100% グランド:綿100%



※価格は全て税別です。

ねむるはなし

vol.2 天然素材である理由

- ・白湯を飲む。
- ・ヨーグルトを食べる。
- ・ヨガをする。
- ・果物とナッツは欠かさない。
- ・お風呂は半身浴で。
- ・30分はウォーキング。
- ・白砂糖は控えている。
- ・野菜は有機野菜がいい。
- ・無添加物を食べたい。
- ・ダニが気になる。
- ・食品は賞味期限が長いものを選ぶ。

健康で美しくあるために、人々は様々な努力をします。口に入れるものはもちろん、化粧品や洗剤にいたるまで、少しでも身体に良く安全で清潔でありたいと願います。

しかし、こと寝具になるとどうでしょうか。価格や、洗えるといった機能性優先で化学繊維を選んだり、デザインやブランド名、キャッチコピーから商品を選んでしまいがちです。

健康や美を考えるなら、まず、ご自身の身体や生活習慣に向き合っ

みてはいかがでしょうか。ご自身の骨格や眠るときのかせ、好きな感触に、ぴったりと合った寝具を使うこと。毎日、6〜8時間はお布団の中にいるのです。身体や季節にあった寝具を選べば、緊張がほぐれ、身体の痛みや重さが抜けていきます。快適さに身を委ねれば、深く眠ることができ、お肌は生き生きと蘇り、すっきりとした目覚めが毎朝手に入ります。毎晩、眠りながら整体し、エステを受けているようなものです。

日本は四季がはっきりとした自然豊かな土地です。でも、同じ季節でも、毎日、気温は変わり湿度も大きく変化します。暑くなれば暑さを逃がし、蒸してきたら蒸れを逃がし、寒くなれば温めて、身体の重さを受け止めてくれる。どんな新素材よりも、地球のリズムに調和して、こころとからだに調和する。それが天然素材のちから。

『石田屋』が天然素材の寝具を扱う理由です。

食を通じて人と人とがつながる、
「豊かな食卓」をコーディネート。

「ねおんの視点」

山本理世

出張料理人

プロフィール／山本理世（やまもとりせ）
兵庫県生まれ、石川県育ち。「R!CE FOOD DESIGN」
を立ち上げ、ケータリング、メニュー開発などを行う。予
算は応相談。問合せはメールもしくはインスタグラムで。
メール／rise.rice.9@gmail.com
インスタグラム／@rise_rice

単なるケータリングや飲食店の
サービスではなく、イベントやパ
ティーの会場、あるいは依頼者の自
宅に、料理人自らが赴き、キッチン
でこしらえた作りたての料理を振る
舞う。あくまでも「出張料理」を職
業として、金沢で活躍の場を広げて
いるのが山本理世さんです。

飲食店で働いていたものの「ひと
つの場所にとどまり、そこで料理を





提供するというスタイル」が自分らしくないなと感じていた矢先、ネット検索でたまたまヒットした「出張料理」というキーワード。話題の出張料理人・新羅彩乃さんにアポを取り、その仕事ぶりを見るために東京へ。食を通じて人を幸せにする別の手段として「これだ!」と思ったのが「出張料理」だったそうです。

元々、ナチュラルフードコーディネーターの資格を取ったことがきっかけで、食に対する意識や関心が高まったこともあり、彼女の料理の基本にあるのは卵も乳製品も使わない菜食主義「ヴィーガン」。ただし、そこに強固なこだわりはなく、オーダーに応じて、肉料理や魚料理も用

意するといいます。

「いくら身体に良いといっても、ストイックにやりすぎると辛くなるし、無理もかかるし。イタリアンな気分、中華な気分というのと同じように、今日はヴィーガン料理で体調を整えたいと、そんな風に普段使いしてもらえるといいかな。大切なのは食を楽しむこと。やつぱり、食べたいものを食べたいときに食べるというのが一番だと思うので」

ヴィーガンといっても、味わいは力強く、そして、見た目も華やかにスパイスをふんだんに用いることで味に深みをだし、そのバリエーションを広げていく。ある意味、ヴィーガンの固定概念を覆し「肉を使っ



右／器はもちろん、カトラリーにいたるまで山本さんがコーディネート。美しく素敵な食卓を多彩に演出してくれる。





下／山本さんの料理の特徴はスパイス使いにある。スパイスには香りの高いオーガニックなものを使用。「スパイスは辛い」という印象があるが、そのようなことはなく、組み合わせを変えて、味の変化を楽しめ、体調も整える。



ていないのに、なんだ、この満足感
は！」と驚きを与えるような料理を
目指しているといいます。

そして、もう一つ、山本さんが強く
心がけているのが「食体験」（フー
ドエクスペリエンス）を提供する
ということ。その思いは、器使い
から、食卓を彩る花のセッティング、
BGMのセレクトにまで及び、会の
趣旨や参加する人たちの好み、シ
チュエーションにあわせ、1回1回、
それぞれにコーディネート。「ただ
料理を作るだけでなく、空間もデザ
インしながら、食事をする場をスペ
シャルな場に変える」ということが、
出張料理人としての最高の楽しみで
あり、喜びでもあるようです。

おいしい料理を「特別な場所」で
いただくことで、人と人とが和やか
に打ち解け、その距離がどんどん縮
まっていく。山本さんが作りあげる、
そんな「豊かな食卓」を一度体験し
てみてはいかがでしょうか。



ウールの適度なクッションのある
ギャツベ。表面温度が一定に保たれ
るので、蒸れずにさらさらとし、夏
のお昼寝に持ってこい。夜にぐっすり
眠るためお昼寝は20分程度にとど
めて。カシュクリ／8620174(194
×147cm)571,000円

夏のギャツベ &ムートン

ウール（羊毛）は冬のものというイメージをお持ちかもしれませんが、しかし、高地で育ち、寒暖差が大きい場所で育った羊の羊毛は、温度の調整機能に優れています。そのため、冬に暖かいのももちろん、夏は涼しい素材なのです。良質なウールは適度に油分を含むので柔らかい弾力性を持ちます。ちくちくすること

なく、感触もさらさら。『石田屋』のウールが涼しい理由はそこにあります。さらに難燃性で火事になりにくいので、住まいの安全性を高めることも魅力です。

〈夏のギャツベ〉

天然の染料で染められているギャツベ。天然染めの特徴である、深みや

ニュアンスのある色合いは、夏は暑く見えるのではと敬遠されがちが濃い色や赤色も、夏の強い陽光では涼しげに見えます。室内をもっと明るく見せたいなら、窓からの光の角度によって絨毯のむきを変えてみる。そうすると、手織りならではの毛の流れが太陽光をすべらせ、明るく涼やかに見えるのです。



カシュクリ／10002138(194×145cm) 566,000円

〈夏のムートン〉

そして、体を支える弾力。『石田屋』が取り扱っているムートンベッドパッドは、羊毛の中でも毛の直径がひと際細いメリノ種。その中でも、さらに「シヨーンラム」（小羊）を使っており、伸びてきて初めての

カットなので、身体をのせる毛の先端がやわらかく弾力性にも優れています。よって、ちくちくすることがなく、とても気持ちの良い肌触り。身体にはりつかず毛皮なのに暑くありません。また、メリノウールは汚れに強いことも、シート越しに肌と

触れるベッドパッドとして最適な素材です。弾性の高い羊毛がそれだけ密集していると、体を横たえても潰れることはありません。

さらに、裏地にも一工夫を。通常はポリエステル地で裏地を処理されることが多いムートンベッドパッドですが、『石田屋』ではオリジナルのリネン生地を張ることで、快適さをさらにアップ。そのことで、熱がこもることなく、すっと涼しく感じます。また、天然のウールは、梅雨時や長時間しまっていたときなど、独自の原料臭がすることがあります。これは湿気の多い日本に起こりがちな現象。天気の良い日に天日干しをすることで臭いは消えていきますが、リネン張りをすることで通気性があり、臭いが発しづらくなるのです。湿度と温度を調節し、弾力のあるムートンの素晴らしい機能をなくすることなく仕立てられた『石田屋』のムートンベッドパッド。年齢はお子さまから高齢者まで、地域も北海道から沖縄まで、一年中どなたでも安心して長くご利用いただけます。



Sムートンベッドパッド 330,000円(25mmタイプ)、450,000円(35mmタイプ)ほかサイズオーダー可能



プロフィール

伊藤剛俊（いとうたけとし）。1981年、埼玉県生まれ。益子の製陶所に勤めた後、2006年に独立、2007年に築窯。2018年、タカシマヤ文化基金美術賞受賞。

伊藤剛俊 展

開催日時／8月25日（土）～9月9日（日）11:00～19:00

会場／石田屋『gamadan／ガマダン』金沢市高尾3-4-1 休／火曜

問い合わせ／☎076-298-4800（石田屋『gamadan／ガマダン』）



見る者を一瞬にして虜にする、
幾何学的かつ繊細な造形美。

伊藤剛俊 展

益子の陶芸作家であるものの、材料として用いているのは、一般的な粘土ではなく、石粉を主成分とする磁土。素朴な風合いの益子焼とは異なる、幾何学的で、繊細な美しさ。まさにアートと呼びたくなるような磁器で、全国的にも注目を集める新進気鋭の作家・伊藤剛俊さん。『gamadan／ガマダン』のオープンから『石田屋』とご縁のある氏の、同店で2度目の展示会を開催します。見る者の目を捉えて離さない、普遍的な存在感と造形美をぜひ体感してください。

奥能登に本物の地ビールを求めて。

Heart & Beer

日本海倶楽部

「豊かな自然に囲まれたヒーリング・ベイエリア」



レストランに併設されている工場の中にある仕込槽。ここで作られた出来立てのビールをすぐに味わうことができる。

メーカーで大量生産されるビールとは異なり、小規模な醸造所で造られる地ビール。その魅力は「自分たちのビール」をオリジナルで造っているということ。高い技術を持ったビール職人が、香りや苦味など個性を際立たせ、全国各地で様々な味わいを生みだしており、最近、その人氣は特に高まっています。

鳳珠郡能登町。美しい日本海を望む能登内浦の高台に佇んでいる『日本海倶楽部』は、ビール工房にレス

トラン、ミニ動物園が一体となったリゾートスポット。1998年のオープン時にこだわったのは「本物であること」で、ビールの本場であるヨーロッパを事前に視察。その伝統を学びながら、イカの内臓を発酵させてつくる「いしり」やイワシやサバを原料とする「いしる」等の魚醤、塩漬にしたイワシをさらにぬか漬けにした伝統の保存食「こんかいわし」など、古来より発酵文化が深く根付いている奥能登の地から

「全国に発信できる商品を」と、早くから本格的な地ビール造りを手がけてきた先駆けでもあります。ビールの本場チェコの醸造士（ブラウマイスター）からその技術を受け継ぎ、現在、その品質管理を一手に担っているのが魚岸翔太さんです。ビール好きが高じて醸造士に転職したその「ビール愛」は深く、本物の味わいを求める人たちの期待に応えるべく日々勉強。新しい味わいを生み出すチャレンジを続けています。



a 見晴らしのよい高台に佇むブルワリー。b 転職して醸造士（ブラウマイスター）の道を選んだ魚岸さん。c 原料となる麦芽やホップはすべて本場から取り寄せている。d 麦芽やホップの種類や調合で味わいが様々に変化する。



a まるでヨーロッパのバブにいるような本格的な雰囲気のレストラン。b 店のスペシャルティにもなっている「鶏の丸焼き」3〜4人前(1,800円)。c テラスから望む九里川尻湾は絶景。d 地元食材を使った「能登豚ロースのグリル焼き」(1,150円)。e その風味が絶妙な味わいを醸し出す「麦酒アイス」(400円)。

ここでいただける地ビールは、チエコ伝統のスタイルを再現した同社のフラッグシップ・ビールである「ピルスナー」、ローストモルトの香ばしい風味とほのかな甘みが特徴の黒ビール「ダークラガー」、フルーティーな香りとスツキリとした喉ごしが魅力の「ヴァイツェン」、能登の海洋深層水を仕込み水に使った琥珀色のラガービール「奥能登伝説」の4種類。いずれも、麦芽、ホップ、ビール酵母のみを使っ



たモルト100%の生ビールで、完全な自然食品。ビタミンE、ミネラルを多く含み、整腸作用もある酵母を加熱処理やフィルター処理を行わず、大切なものをそのまま閉じ込める。それらは、ある意味、究極の健康飲料ともいえ、酵母が生きたままであるからこそ生まれる独特の苦みとコク、そして、芳醇な味わいは格別。自然の恵みを存分に堪能することができます。特にこれからの暑い季節、1階のテラスや2階のバルコニーで、九里川尻湾を眺めながら飲む地ビールは、まさに至福のひとつきを約束してくれるはずです。

そして、外せないのが、地元の食材を使った料理で、スパイスが旨みをひきだす名物メニュー「鶏の丸焼き」、多彩なパスタや、ナン、ピッツアから選べるランチまで、そのバ



Heart & Beer 日本海倶楽部

石川県鳳珠郡能登町字立壁92

☎0768-72-8181

営／11:30～22:00 休／水曜（祝祭日は営業）

※営業時間、定休日は季節により変わりますのでお問い合わせください。

<http://www.nihonkai-club.com>

リエーションは実に豊か。組み合わせがマツチする「麦酒アイス」やソフトドリンクも揃うので、休憩がてらカフェ使いするにもぴったり。金沢からは「のと里山海道」を経由して車で約3時間。周辺は広大な公園になっており、滑り台やヒーリング・ベルも設置されています。奥能登に足を運ぶなら覚えておきたいヒーリング・ベイエリアです。

※価格は全て税別です。



月替わりのコースランチ「めぐる」 2,000円 (ドリンク別) ※写真は3月のメニューです。

春は代謝を高め、夏は熱を逃がして水分を排出し、秋は身体を潤し、冬は温めてくれる。栄養価が高くて、体調を整えやすい旬の食材、一番おいしくいただける地の食材をふんだんに用いた月替わりのコースランチ。身体の声に耳をかたむけ、めぐる季節の恵みをいただくことで、人間が気づかぬうちに動いていく自然と調和する。自分の身体は自分でつくる。このことをご存知の方に味わっていただきたいメニューです。

旬の料理をいただくことで
身体を整え、心を満たす、
『ガマダンダイニング』

深呼吸をするように、身体を隅々まで
浄化し、エネルギーで満たす。『ガマダン
ダイニング』は、美しい庭を眺めながら
いただく料理で心を満たす場所です。

～ 大人気！オリジナル自家製ドリンク ～



「自家製コーラ」600円

オレンジの皮とレモン、数種類のスパイスをくつくつと煮て作られた自家製のコーラは、たくさんのスパイスを使った健康飲料。さらに、ミネラルと鉄分もたっぷり入っています。甜菜糖と黒糖で甘みを出した、甘すぎない大人のためのナチュラルコーラです。



「パイナップル酢ソーダ」600円

太陽を浴びて育った生のパイナップルを丁寧に刻み、氷砂糖と酢で2週間しっかりと仕込む。爽やかな酸味と甘みで口の中がたちまち南国になる、疲労回復効果の高い、夏にぴったりのドリンク。パイナップルは食物繊維が豊富で低カロリーなもの魅力。



『ガマダンダイニング』

金沢市高尾3-4-1 ☎076-298-7800
営／11:00～19:00 (L.O.18:00)
※コースランチはラストオーダー15:00
休／火曜

【メニュー】

昼：ランチ【コース】2,000円（ドリンク別）、他
夕：ランディナー【コース】3,000円、他
カフェメニューもあり ※価格は全て税別です。

〈編集後記〉

この1年は毎日、血圧計測定する。体重測定する。睡眠時はCPAPする。日々体調管理の健康オタク会長です。昨年体調を崩しまして…体調管理に気を付けております。いよいよ復活の兆しが見えてきました!(笑)超元気に活動して社会貢献をさせていただきます。

田中和昭

滋賀県の工場に伺ったのは暖かい雨の日でした。「今日は糸が切れなくていいわ。昨日は晴れていたからよく切れてね」。おだやかな笑顔の向こうに在る職人魂を感じました。

八木勢津子

今回は滋賀県へ。どうやって作ってる? どんな人が? どんな場所? 知る事はエネルギーになる。勝手に言葉が溢れ出す。私の場合、キーボードがカタカタ、リズムを刻みだす。

武蔵 綾

今回『夏のギャッベ』にモデルとして出させていただきました。撮影中なのにギャッベの上にいると、本当にウトウトと眠気が…。ここでゆっくりしてねって言ってくれた気がします。

岡野 徹

人間にしかできない仕事がある。麻をつくる「手仕事」には「思いやり」や「矜持」や「誠実さ」など、私たちがいちばん大切にしなければいけないものが宿っていました。

愛山達也

苦手な夏がやってくる。今年は予想を超える暑さらしい。いずれにしても夏には天然素材が欠かせない。身にまとうだけでココロもカラダも軽やかな心地よさを生んでくれる。繊細な羽衣のような布地に身をつつむと、なんとも言えない幸せを与えてくれる。麻やシルク、コットンが大好き。今年もこれで乗り切ることに。

田中佳美

次号／

「眠音 vol.47 2018 秋号」は
9月発刊予定です

石田屋イベントスケジュール

gamadan／ガマダン

「Shock SOCKS '18」アンティパスト 靴下展

6月13日(水)～25日(月)

芳野まいトーク&アペリティフパーティ

「フランスに学ぶ、大人のクラシック、ロマンティック」

講師:芳野まい

(フランス文学研究者／セゾン現代美術館 主席研究員・理事)

7月28日(土)17:00開演

gamadan LUNCH & SPECIAL 睡眠診断

月・水～金 11:00～15:00

一日限定1組

和座店

足型健康チェック アーチサポートインソール体験

6月1日(金)～3日(日)

天然スキンケアグリーンベル無料体験

「お試しメイク or 季節の肌ケア」

6月25日(月) 11:00～17:00

犀川店

デトックスエステ「老廃物を排出。体調改善」

6月22日(金)～24日(日)

7月20日(金)～22日(日)

8月24日(金)～26日(日)

足型健康チェック

6月1日(金)～3日(日)

8月3日(金)～5日(日)

ゆるふ整体

6月2日(土)・3日(日)

8月4日(土)・5日(日)

天然石アクセサリ「ボルトボナー」

6月16日(土)～24日(日)

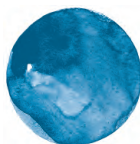
天然スキンケアグリーンベル無料体験

「お試しメイク or 季節の肌ケア」

6月23日(土)・24(日) 11:00～18:00

アンティーク布バッグ「AYA HORIBE」

8月4日(土)～26日(日)



ISHITAYA

gamadan／ガマダン

金沢市高尾3-4-1
☎076-298-4800
11:00～19:00
火曜定休

犀川店

金沢市清川町1-1
☎076-280-4800
11:00～19:00
火曜定休

和座店

能美市大成町156
☎0761-55-3737
10:00～19:00
火曜定休

眠 音

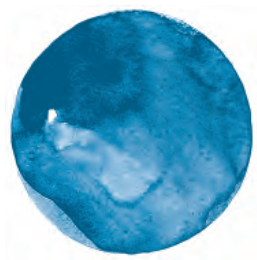
ねおん

Vol.46
Summer

2018年6月1日発行 編集発行人／田中佳美 発行／(株)石田屋 〒921-8152 金沢市高尾3-4-1 ☎076-298-4800
本書の全部または一部を無断で複写することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。 © Ishitaya Co., Ltd. <http://www.ishitaya.com> Printed in Japan

定価300円

税別



ISHITAYA

www.ishitaya.com